

## 1月9日(木) 第4弾仙台の横丁文化の会：「稲荷小路」を開催

仙台には東北最大(日本有数)の繁華街「国分町」があり、その一角をなし国分町全体の賑わいを盛り上げる「稲荷小路」がある。今回はその現状を探るべく「稲荷小路」にて開催した。稲荷小路は東一番丁通りと国分町通りの間に平行する通りで、戦後の復興区画整理でできた道路です。通りのまん中にお稲荷神社があったことから「稲荷小路」と呼ばれるようになりましたが、昭和23年の虎屋横丁の火災のときに、このお稲荷さんの隣で鎮火したことから「火伏せの守護神」として鎮座しております。

国分町通りは接待を伴う高級クラブ・スナック・割烹・寿司等の比較的高めの飲食店が多が、稲荷小路は大衆酒場・小料理店・中華料理店が多く、全国的に知られる「牛タン味太助店」・「おでん三吉」・「郷土酒亭元祖炉ばた」もここに名を連ねる。連日若いサラリーマン・学生が足を運ぶ。

○開催場所：和と炭あまから屋

この店は国分町に多くの飲食ビルを持ち多くの酒を卸す(株)カネサ藤原屋の前社長が経営する店で地酒の品揃えが豊富である。今回の肴はフグ鍋・旬鮮刺し盛り・カキフライ・フグの唐げ・有頭エビ焼き・メの雑炊等食べ応えがある料理。

酒は宮城・青森・新潟の地酒を6種類、社長よりサービスでいただいた隠れ酒をいつものようにたらふくいただいた。利き酒師佐〇〇〇もご満悦でした

○次年度事業の打合せ：今回の例会中に参加者にてミーティング

- ① 名称変更：「仙台横丁文化と般若を極める会」に変更
- ② 近年地酒がブームとなっており仙台横丁文化の会もこれまで開催店において宮城・東北を中心とした地酒を味わってきた。次年度はその地酒をより追及(味わう)したく従来の名称に「般若を極める」を付け加える。
- ③ 「般若」…単なる知識や知能を超えたより深い悟りの境地を表す仏教用語。般若心経では般若によってすべての苦しみから解放される道が示される。宿坊に宿泊した際のお酒は「般若湯」として出される。
- ④ 開催回数と場所：年7回、開催場所にJR線・地下鉄沿線を加える

\* 毎月開催を期待するが予算の関係から7回とする。状況により回数を増やす。

\* 近年、JR・地下鉄等の交通網の発達により従来の横丁以外にも繁華街が広がっている。特に長町駅、仙台駅東口、泉駅付近に繁華街が広がる。今年はそこも訪ねる。

\* カラオケ会との合同企画により相互の参加者拡大と親睦を図る

\* 新規参加者の拡大を図るため他クラブや他地区との共同による事業を企画し、会員相互の親睦を図る。

○その他

参加者相互の健康に十分注意し健康についての情報を交換する。「般若湯」を組み交し、笑顔でストレスをためないことを確認。

### <2025年度活動計画(案)>

○開催目的・場所

\* 壺式参横丁・文化横丁・東一市場・仙台銀座・仙台浅草・虎屋横丁谷風通り・政岡通り・ジャンジャン横丁(名掛丁センター街)・仙台朝市・仙台ミライン横丁等から参加者の意見で選択する。

\* 近年、JR・地下鉄等の交通網の発達により従来の横丁以外にも繁華街が広がっている。特に長町駅、仙台駅東口、泉駅付近に繁華街が広がる。今年はそこも訪ねる。

\* カラオケ会との合同企画により相互の参加者拡大と親睦を図る

\* 新規参加者の拡大を図るため他クラブや他地区との共同による事業を企画し、会員相互の

親睦を図る。

日程 4/10 (木)、5/8 (木)、※8/7 (木)、9/4 (木) 11/6 (木) 1/8 (木)、3/5 (木)  
※8/7 (木) はカラオケ会と共同企画